

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)	◎	旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック後に観光回復策が集中的に投下されることを期待している。現状から夏季観光需要の大幅回復は見込めないが、その分、レジャー関連の潜在需要がかなり蓄積しているとみられるため、Go To Travelキャンペーンなどの施策により、市場の景気回復につなげてほしい。
	○	商店街（代表者）	・ワクチンの普及に伴って、客の行動範囲が広がっていることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	商店街（代表者）	・コロナ禍以前であれば、2～3か月後は出控えの時期となるが、農作業が落ち着く時期でもあるため、周辺地域からの来街者が増加するとみられる。土産、宿泊については余り期待できないが、衣料品、昼間の飲食などで若干の売上アップが期待できる。
	○	商店街（代表者）	・果物の流通量の増加が見込まれる。雨風などの悪天候による影響が生じない限り、景気はやや良くなる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・ワクチン接種が進展することで景気はやや良くなる。夏から初秋にかけての人出はどうしても抑えられないと考えられるため、新型コロナウイルスの感染者は増えるとみられるが、ワクチンの効果で経済活動が上向くことを期待している。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染動向にもよるが、消費者の手元資金が蓄えられているようにみえることから、今後の景気は徐々に回復することになる。
	○	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がどの程度出てくるかは予測できないが、来客数が安定して増加傾向にあることから、今後、感染者が爆発的に発生しなければ、ワクチン接種の拡大に伴って、景気は少しずつ回復することになる。
	○	百貨店（営業販促担当）	・ワクチン接種の進み具合にもよるが、接種を終えた高齢者の来店が着実に増えてきていることから、今後の景気はやや良くなる。秋にはプレミアム付商品券の販売も予定されているため、一定の反動増も見込まれる。
	○	スーパー（店長）	・2～3か月後には東京オリンピック・パラリンピックも終わり、30～40代のワクチン接種も3～4割は1回目の接種を終えている可能性があることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息に向かっていくことが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者数の増減に影響を受けている状況はこれまでどおりだが、観光、レジャーを目的とした予約が増加傾向にあることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・これまでストップしていた行政の施策が再開されることなどを期待できるため、今後、旅行需要が促進されることになる。
	○	観光名所（従業員）	・ワクチン接種が進むことで、感染対策をした上での経済活動や余暇活動が今までよりも活発になると期待している。
	○	美容室（経営者）	・今後、ワクチン接種が進行することで、客の行動が活発になり、経済が活性化していくとみている。現在はシルバー層のワクチン接種が中心であるが、今後、中年層、若年層まで広がっていくことで、現在よりも売上が増加すると期待している。
	○	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・ワクチン接種が進むにつれて、旅行需要も高まるとみられるため、今後の景気はやや良くなる。
□	商店街（代表者）	・コロナ禍の影響が続くことが懸念されるため、今後も景気は変わらない。	
□	百貨店（役員）	・東京オリンピックが始まっていることが消費への追い風になっている。ただ、今後については、どちらともいえないというのが本音である。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、今後のまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出の噂もみられるなど、先行きが不透明である。ただ、ワクチン接種が進み、感染者数が落ち着くようになれば、大きく回復する可能性もある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・今年のお盆の消費動向については、極端な移動自粛がみられた前年とは違い、多少なりとも帰省客が増えるとの予測もあったが、実際には墓参りはするが実家には帰らないという人が意外と多くみられる。消費動向について、非常に読みにくい状況が続いていることから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・高齢者へのワクチン接種が進んでいることで、人流が増加すると考えられる。一方で、東京オリンピックが終わることで消費行動が落ち着くことも考えられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピックが終わった後の消費動向がどうなるか何ともいえない状況にある。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスについて変異株による感染が増えていることで、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出も視野に入りつつあることから、今後、行動自粛などで景気が下向き可能性もあるが、夏の気温上昇と残暑の影響による売上も見込めるため、全体的な売上は変わらないものとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後もまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されることになる。新型コロナウイルスが終息したとしても元の状況には戻らないことが懸念される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染動向の先行きが不透明なため、今後の景気を読めない状況にある。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・東京オリンピックに伴う需要は期待ほどではなかった。当地の新型コロナウイルスの感染状況は感染拡大までは至っていないが、全体的な感染状況が落ち着くまでは景気が上向きことを期待できない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、新型コロナウイルスの感染が拡大する恐れがあることに加えて、衆議院選挙などの影響も見込まれることから、年内は景気が良くなる要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・8月は夏休みやお盆があるため、販売に厳しい面があるが、9月は決算期となるため、売行きは上向きことになる。10～11月はタイヤ交換時期に重なることから、来場者への販売促進が進むことになる。これらのことから、2～3か月先の景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・ここ2か月ほど販売量が停滞気味であり、この先も良くなる要因が見当たらないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（店長）	・現状の来客数は前年と比べて10%程度の増加傾向にあるが、これ以上の増加となると新型コロナウイルスの感染動向で良しあしが決まってくるため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（経営者）	・東京オリンピックが終わってからのワクチン接種のスピードが景気回復に向けての鍵となる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染抑制が不透明であり、先が読めない状況にある。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・2～3か月後には夏のシーズンが終わっている。観光関連の施策が再開されることも考えられるが、東京オリンピック開催後の新型コロナウイルスの感染状況次第の面がある。また、衆議院選挙があると、高級店の売上が低調になる傾向があるため、年内の飲食、観光関係の好景気は余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・当地の地域特性として、新型コロナウイルスの感染拡大傾向にある地域からの客が多くを占めていることが挙げられる。そのため、現在の感染拡大に伴って、ここに来て伸びつつあった来客数が減少に転じることが懸念される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・今よりもワクチン接種が進んでいるとはみているが、2～3か月後の新型コロナウイルスの感染者がゼロになることは考えられない。今年の1月以降、感染者数が増えるが少なかるうが来客数などに変化がみられないことから、海外のようにマスクをしなくても良い状況が作られない限り、旅行需要は見込めない。

□	旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種率向上が鍵になるとみられる。ただ、これから寒くなる時期を迎えて、感染が拡大しないかが不安である。
□	通信会社（企画担当）	・大型店舗での出張販売における今後の集客に懸念はあるものの、毎年秋口に販売される話題の通信端末への需要によってある程度はカバーされると期待している。
□	観光名所（職員）	・引き続き今後の先行きに強い懸念を抱かざるを得ない状況にある。とにかくワクチンに期待したいところだが、接種が遅れ気味であることから、少しでも早い接種率の向上を期待している。
▲	商店街（代表者）	・現状、客は東京オリンピックのことに気が向いているが、単価に対してシビアになってきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が進んでいない状況で、東京オリンピックのマラソン、競歩が実施されるため、人流が活発になることで新型コロナウイルスの感染者が増えることが懸念される。そうなれば、現状よりも景気は悪くなる。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が出てくることが懸念される。
▲	スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの感染が一気に拡大してきている。今後については、巣籠り需要は期待できるものの、せっかく回復傾向にあった景気が再び以前の状況に戻ってしまうことが懸念される。
▲	スーパー（従業員）	・コロナ禍のなか、飲食業、観光業について、回復の見込みない状況が継続することになる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加していることから、今後の景気はやや悪くなる。天候が今よりも良くなるような予報ではないこともマイナスである。
▲	その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスが終息せず、悪化傾向にあるため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	高級レストラン（経営者）	・観光シーズンに入り、景気はやや上向きにあるとみていたが、新型コロナウイルスの感染者が増えてきたことから、ワクチン接種などが進まない限り、景気は下向きになる。政府が何か新しい対策を採るようになれば違うのかもしれないが、現状、新型コロナウイルスの感染が終息する要素がないため、先行きが不安である。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・前年はGo To Travelキャンペーンなど、観光客を呼び込む施策があったことから、コロナ禍以前に匹敵するような集客を実現できたが、今期に関しては不透明な部分が多い。ワクチン接種もここに来て予約すらできない状況であることから、今後の景気回復はほとんど期待できない。
▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大によって、サービス業への逆風が強まり、またしても雰囲気が悪くなってしまっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・当地では、8月2～31日までまん延防止等重点措置が適用されることになり、飲食店でのアルコール提供が一切できなくなることから、タクシーの利用も一段と減少することが見込まれる。特に夜間の利用が激減するとみられる。
▲	タクシー運転手	・今後も新型コロナウイルスの感染拡大が続くとみられ、それに伴い緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの対策が行われることになれば、来客数が減少することになる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが再び感染拡大してきていることで、何らかの自粛を求められるようになるとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者が増えてきており、今後、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出が行われる可能性が高いことから、今後の景気はやや悪くなる。自治体によるワクチン接種が遅れていることから、客の外出も控えられるようになり、それに伴って景気も落ち込むことになる。
▲	美容室（経営者）	・委縮してしまった客の購買意欲が上向きにはまだまだ時間が掛かるとみられる。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大するとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。

	▲	住宅販売会社（経営者）	・東京オリンピック終了後に新型コロナウイルスの感染者が大幅に増えて、第5波が来ることになれば、景況感が相当悪くなる。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・一時的に盛り上がった東京オリンピックの熱気が冷めて、夏から秋にかけて消費が落ち込むとみられる。新型コロナウイルスの感染再拡大の影響もあり、経済対策がなければ、今後の景気は落ち込むことになる。
	×	商店街（代表者）	・北海道にとって最高の観光シーズンを迎えているにもかかわらず、観光客は全く来ていない。頼みの綱であった東京オリンピック開催も無観客となってしまい、期待していたホテルも、観光関連施設も落胆しており、ショックを隠しきれない状況にある。観光産業への支援は、今年に入ってから何もなく、このままの状態では壊滅もみえてきている。ワクチン接種がある程度進んだ際には大胆な規制解除を実施し、経済を回すようにしないと、北海道の経済は間違いなく壊滅する。北海道の観光シーズンは9月までであり、それまでに何らかの対策を実施しないと冬を越せない状況になってしまう。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・人の流れが増えたことにより、今後1～2か月で首都圏にも、北海道を含めた地方にも感染者が増えることが見込まれる。まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出ということになれば、自粛ムードもあいまって航空機を利用して移動することが難しくなるため、秋までもう一段階上の落ち込みにつながってしまう。一方で、そうなる前に旅行しようと考えて移動している人も多いため、現在の人の移動は需要の先食いともみている。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染対策に伴う自粛で客の来店状況が厳しくなるとみられる。一旦ロックダウンをするなどして感染状況をリセットしないと、経済活動もそうだが、働いている社員の安全も守れない。
	×	スナック（経営者）	・今後、景気が良くなるとは考えられない。せめて現状並みの状態に戻るくらいにはなしてほしい。
	×	観光型ホテル（経営者）	・再度、まん延防止等重点措置が適用されることが予定されていることから、今後については一段と厳しい状況となる。知事は必要な措置と発言しているが、補償や経済対策が皆無なため、もはやため息しか出ない。
	×	タクシー運転手	・現在の一時的な観光客の回復による経済効果は限定的であり、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で観光シーズンが終了する頃にはどん底の不景気を迎えることになる。
	×	タクシー運転手	・これから冬に向かっていくなかで、景気はますます厳しくなる。新型コロナウイルスの終息がみえない限り、今の状況と横ばい又は悪化で推移することになる。
企業 動向 関連  (北海道)	◎	通信業（営業担当）	・ワクチン接種の進展によって経済活動が本格的に回復することが見込まれ、景況感は現状から大きく改善する。
	○	家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善することになれば、景気はやや良くなる。
	○	建設業（経営者）	・手持ち工事量が膨らみ、稼働率が高水準となる。ただ、油、木材、鋼材などが値上がりしていることから、納期や採算に影響が生じることが懸念される。また、例年のことではあるが、人手不足がどの程度になるかははっきりしないことも懸念材料である。
	○	金融業（従業員）	・コロナ慣れや東京オリンピック・パラリンピック開催によるマインド改善などから人の動きが活発化しており、低調なサービス消費の持ち直しが見込まれる。また、ワクチン接種の進展による景気押し上げも期待できる。このため、感染爆発のような状況とならない限り、3か月後の道内景気はやや良くなる。
	○	司法書士	・ワクチン接種が進むにつれて、人や金の流れがスムーズになり、景気が徐々に回復することになる。ただし、現在、ワクチン接種の予約ができない状況にあり、希望者にワクチンが行き渡るまで、まだまだ時間が必要とみられることから、急激な回復までは見込めない。新型コロナウイルス発生以前の水準に回復するには相当の時間が必要とみられる。

	○	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続いているなど、引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、ワクチン接種の進展に加えて、感染対策を行いながらの経済活動も定着化しつつあることから、今後の景気はやや良くなる。公共工事などの経済対策が順調に発注されていることもプラスである。
	□	食料品製造業（従業員）	・景気が上向きような案件が見当たらない。
	□	食料品製造業（従業員）	・3か月後も現状と変わらないことが見込まれる。
	□	建設業（従業員）	・新規案件情報が上がってこないなど、例年よりも悪い状態にある。そのため、今後も受注量は変わらないまま推移する。
	□	輸送業（支店長）	・ワクチン接種が進んでいるものの、まだ数か月は新型コロナウイルスの感染者の増加と減少を繰り返す不安定な状態が続くとみられることから、今後も景気は現状と大きく変わらないまま推移する。
	□	司法書士	・東京都を始めとした首都圏や地方都市での感染拡大が進むことで、再び緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用が行われることが懸念される。政府も新型コロナウイルス対策で手一杯で、景気回復のための施策に手が付かない状況にあるため、景気回復には相応の時間が必要な状態にある。
	□	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・現在動いている公共工事、整備新幹線延伸工事、再生可能エネルギー関連工事、民間プロジェクト工事などはしばらく継続する案件であるため、今後も景気は変わらない。
	□	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・今後も大きな変化はないとみられるが、引き続き新型コロナウイルスの影響を注視している。
	□	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・ものづくりの現場では、新型コロナウイルスの影響がそれほど大きくない。東京オリンピック・パラリンピックが終われば、市場が活発に動くといった話をよく聞くため、今後の景気が少しずつ良くなる可能性もある。
	▲	建設業（役員）	・年度後半分の新規受注がなかなか決まらない。新型コロナウイルスの感染再拡大が設備投資需要の回復を妨げるのではないかと懸念が大きくなりつつある。
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・受注先の会社も含めて、下期の契約が減少するのではないかと懸念が出始めている。
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・農産物の収穫が終わっている時期であり、新型コロナウイルスが終息に向かうことになれば、人の流れが良くなり、景気も良くなってくる。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染者の急激な増加及び緊急事態宣言の発出は企業経営者や労働者のモチベーションを停滞させる要因となりうることから、今後の求職者の転職活動にブレーキが掛かることを懸念している。ただ、企業の求人意欲が大きく落ち込むことはないと思われる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染が一段と拡大しており、ワクチンとのせめぎ合いの構造となっている。今回の第5波が最後の大浪と分かれば、今後、採用活動が一気に活発化するとみられる。いずれにしても東京オリンピック終了後の感染状況次第である。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種が進まない限り、今までのように景気や人の動きが良くなりかけては悪くなるという状況が繰り返されることになる。現状への諦め感も漂っており、東京オリンピック後の人の動きや景気の先行きは見通しづらい。インバウンドが戻ってこない限り、景気回復には相応の時間が掛かることになる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種の効果で9月以降に飲食、観光業界の景況感が好転する予感もあったが、第5波の影響次第である。また、雨不足によって農作物の品質や収穫量に影響が出てこないかが心配である。

□	職業安定所（職員）	・2～3か月後の状況が改善しているとは考えづらく、それほど大きく変わらないものと捉えている。ただ、10月の最低賃金の改定に当たって、結構大きめの金額での引上げが予定されており、企業の負担が重くなることが懸念される。
□	職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年から9.6%増加し、新規求職者数は前年から9.2%減少した。6月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る0.84倍となり、当面は現在と同程度の水準で推移するとみられる。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種において不安定な動きが継続しており、予断を許さない状況にある。
□	職業安定所（職員）	・管内における新型コロナウイルスの感染者は多くはないが、雇用調整助成金の申請が増えてきているなど、影響が続いていることから、今後も景気は変わらない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・長引くコロナ禍に対する国の対応がちぐはぐなこともあり、景気を後押しする要因がほとんど見当たらない。首都圏と異なり、大手企業や老舗企業の少ない北海道では、大学生にとってどうしても内定を得たい企業が少ないため、学生のがむしやら感もみられず、学生にとってつらい就活が2年連続で続くことになる。
▲	*	*
×	—	—